

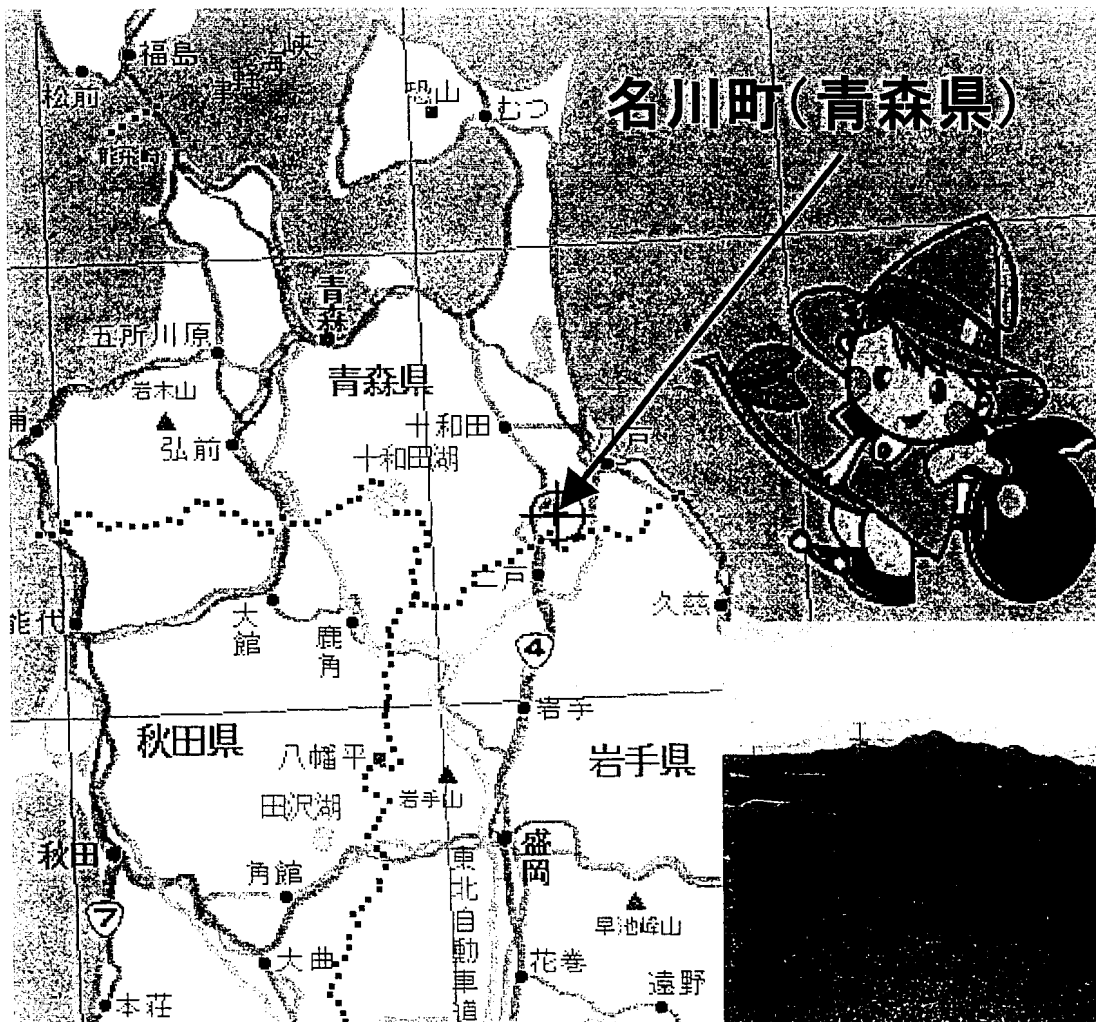
第4回老人保健事業の見直しに関する検討会	
平成16年9月13日(月)	資料2

大野参考人提出資料

うつ病と自殺予防

慶應義塾大学保健管理センター

大野裕



地域の保健活動とうつ病・自殺予防

1) 一次予防活動

地域住民の意識を変える

自殺および精神疾患に対する抵抗意識

具体例

名川町: よりあいつこ、配付資料

鶴田町: 鶴亀座

ミニコミ、マスコミの活用

2) 二次予防活動

* 利用しやすい簡便なスクリーニング質問紙の開発

① 町全体の住民を対象とした定期的スクリーニング

② 地域の病院での簡易質問紙による自己チェック

③ 民生委員や保健推進委員の訪問時の質問紙の使用

④ 簡易質問紙や啓発目的のパンフレットの家庭への配布

* 危険性の高い人への介入

① 死にたいと言っている

② 配偶者や家族の死亡、

③ 親族や近隣の人の自殺

④ 医療機関から退院

3) 三次予防活動

地元医療機関との連携

ヘルスアップ活動

医師会マニュアル

4) 保健活動のサポート

技術的サポート

医療関係機関以外との連携

5) 倫理的な問題を考慮する

資料 8 : 本邦において1985年以降5年間以上継続された高齢者自殺予防活動の実績
(大山博史著, 高齢者自殺予防マニュアル, 診断と治療社, 2003)

	新潟県			岩手県	秋田県
	松之山町	松代町	安塚町	浄法寺町	由利町
人口規模*	3500-4000	4500-5000	4000-4500	5500-6000	6500-7000
65歳以上人口割合(%) ^a	27.5-30.0	25.0-27.5	22.5-25.0	20.0-22.5	17.5-20.0
高齢者自殺予防活動(施行年度)	1985-2003(継続中)	1988-1997	1991-1997	1985-2003(継続中)	1995-2003(継続中)
スクリーニングとフォローアップ					
実施期間	1986-2003(継続中)	1988-1997	1991-1997	1988-2003(継続中)	未実施
項目内容	SDS, うつ状態の既往, 自殺観念, ライフイベント	SDS	SDS	SDS	
実施頻度	年1回, 悉皆で実施	年1回, 悉皆で実施	年1回, 悉皆で実施	年1回, 30%の高齢者に実施, 5年毎に悉皆で実施	
確定診断	精神科医がRDCによりうつ状態を診断	精神科医がRDCによりうつ状態を診断	一般医がRDCによりうつ状態を診断	精神科医が臨床的にうつ状態を診断	
高危険群への介入法	一般・精神科診療, 保健師訪問	一般医診療, 精神科コンサルテーション, 保健師訪問	一般医の診療, 保健師訪問	精神科診療, 保健師訪問	
高齢者福祉活動					
活動内容	引きこもり老人へのグループ・ケアや友愛訪問	グループ・ケア友愛訪問		精神科医による相談	保健師による相談 グループケア 友愛訪問
	リハビリ教室 特別養護老人ホーム 開設	リハビリ教室 デイ・サービスセンター 開設	リハビリ教室 デイ・サービスセンター 開設	在宅福祉サービス	
啓発・健康教育 テーマ	うつ病予防, 自殺の危険 自殺タブー性の強調	うつ病予防, 自殺の危険	うつ病予防, 自殺の危険	うつ病予防, 自殺の危険 自殺タブー性の強調	うつ病予防, 自殺の危険
その他				精神科医との定期連絡会	高齢住民アンケートの 頻回実施
高齢者自殺死亡率(対10万) 65歳以上総計(男/女)					
1980-1984	241.9 (162.4/293.4)	226.3 (167.9/267.7)	314.1 (487.3/183.6)	330.3 (418.4/266.3)	107.3 (155.7/ 73.2)
1985-1989	319.4 (159.0/427.2)	325.7 (368.6/294.8)	224.5 (142.4/286.5)	270.3 (141.6/359.2)	219.0 (273.8/197.4)
1990-1994	95.1 (45.0/131.8)	213.3 (438.0/ 52.3)	256.5 (380.5/161.7)	67.0 (0.0/113.4)	298.0 (193.0/370.1)
1995-1999	不詳	114.2 (105.5/120.8) ^b	97.4 (149.1/57.5)	85.0 (136.8/48.4)	104.2 (222.8/22.1)

^a1990-1994のレンジ(人口は500名区切り, 割合は2.5%区切りで表示)

^b1995-1997の平均

SDS: Self-rating Depression Scale; RDC: Research Diagnostic Criteria

検討課題

自殺予防活動をめぐって

- うつ対策と地域対策
 - 自殺率と失業率:相関係数 $>.9$
 - 日本特有
 - 関連領域との連携(弁護士会、司法書士会、ハローワーク、等)
 - 秋田県:57機関相談網
 - →経済状況とうつ病・自殺の関係に関する検討
 - 自殺率とアルコール消費量:相関係数 $>.7$
 - 他の精神疾患(アルコール依存、統合失調症、不安障害、等)の問題と併存
 - →psychological autopsy等を通じた自殺事例に見られる精神障害と増悪要因に関する検討(併存例を含む)
- キュアからケアへ:慢性疾患としてのうつ病
 - 「うつ対応マニュアルー保健医療従事者のためにー」
 - <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/01/s0126-5.html>
 - →マニュアルの応用可能性に関する検討(含む:健康・福祉safety promotionモデル)

一次予防

うつ病を防ぐ環境作り

野場のみなさん

「よりあっこ」が はじまりますよ!

野場では、3月から、野場農事改良組合において、『よりあっこ』を開催することになりました。この『よりあっこ』とは、地域にお住まいのおおむね60歳以上の方々が気軽に集まって食事をしたり、おしゃべりや趣味活動など自由に交流できる場です。元気な方はもちろん、普段お家にいらっしゃる方もお友達をたくさん誘っておいでください。

日時 平成13年3月16日(金)
午前9時30分～午後3時
場所 野場農事改良組合
内容 9:00 開場
9:30 健康チェック
10:00 手工芸(祝儀袋作り)
12:00 昼食
13:00 映画鑑賞(昔なつかしの映画です。)
15:00 解散
参加費 200円(せんべい汁)
(今回は、せんべい汁をこちらで準備いたします。おにぎり、漬物等は各自で持参ください。)

お問い合わせは 野場町内会 まで



名川町保健福祉課(担当:豊川) Tel76-3166
社会福祉協議会(担当:松井) Tel76-2662



7月のよりあっこ

今月の「よりあっこ」は、下記のとおり開催いたします。この「よりあっこ」は60歳以上の方なら誰でも参加できる、趣味活動や軽スポーツ、おしゃべりをして楽しむ場です。また、保健師・看護師等による健康チェックも行っております。皆さんお誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。

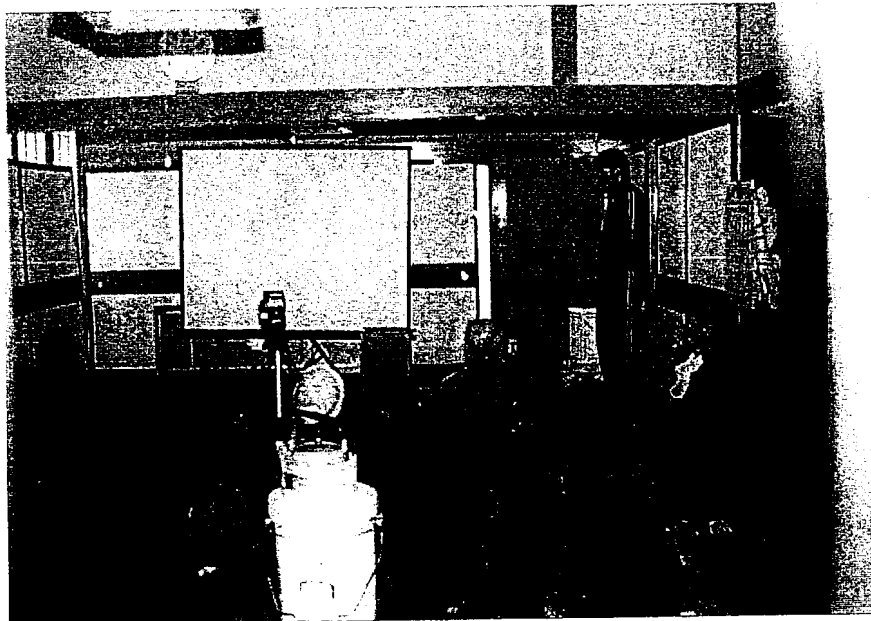
町内名	開催場所	開催時間
鳥舌内	鳥舌内生活センター	午前10時～
鳥谷	鳥谷福祉館	午前10時～
法光寺	法光寺チエリリン村	午前10時～

(雨天:玉川スエさん宅)



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18 鳥谷		0
21	22	23	24 法光寺	25 鳥舌内	26	27
28	29	30	31			

鳥谷小学校の児童が遊びにきますよ!





検討課題

- うつを防ぐ地域環境作りの在り方とその効果に関する検討
- メディアを使った啓発活動の在り方とその効果に関する検討
 - 国・県レベル
 - 地方レベル